

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立狭山特別支援学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校の実情や課題を基に学校の目指すべき方向を企画委員会で検討している。現状・課題・期待などをより広く把握・分析して、新しい目指す学校像が更に具体的かつ魅力あるものとなるよう期待する。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待、児童生徒の実態を踏まえ、重点目標が設定されている。学校の置かれた状況などを把握した上で、新しい目指す学校像と連動させて、中期的な視点から更に検討・整理して目標の具体化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学部等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められており、学校全体のシートに具体的な方策を担当する分掌等を明記するなどの工夫が行われている。評価項目や方策が重点目標を実現するものとなるように、更に重点化していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策と評価指標を設定するに当たり、職員会議などで教職員間の共通理解が図られている。課題を踏まえて方策を策定するとともに、評価指標を、評価項目の達成度を決定する上で、より判断しやすいものとなるよう検討して計画的に実施することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の中・長期的な課題を析出して学校教育目標・目指す学校像の見直しを行い、組織的な取組を進めている。教職員一人一人を的確に生かし、組織力を高めようとする校長の意欲が感じられた。教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めており、中間進捗状況の確認も実施されている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるようアンケートの設問などを工夫し、更に学校関係者の意見やアンケートの結果等を分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			